



こころ えがお せかい
心つながり 笑顔ひろがり 世界へはばたく
がっこう
学校だより

よこはましりついいだきた しょうがっこう
横浜市立飯田北いちよう小学校
れいわ ねんど がっこう
令和6年度 5月号
れいわ ねん がつ にちはっこう
令和6年4月30日発行

じぶん かんが こうどう ちから
自分で考え、行動できる力を
Khả năng tự mình suy nghĩ và hành động
独立思考和行动的能力

こうちょう さいとう ようじ
校長 齋藤 容二

しんねんど ひとつき す こ 子どもたちは朝の挨拶をしっかりと行い、毎日元気に登校しています。
子どもたちが元気に登校できているのは、保護者の皆様のお力があるからです。ご理解、ご協力に感謝いたします。また、ボランティアとして、学援隊の皆様が登校時や下校時に道に立ち、子どもたちへの声掛け、注意喚起などを行ってくださっていることにも、感謝いたします。

こうない まわ しゅうちゅう がくしゅう とく こ 校内を回ると、集中して学習に取り組む子どもたちの姿や、新年度の意気込みが伝わる掲示物が見られます。その中から、5年生の『よい学校』にしていけるために「できること」を紹介いたします。

- きれいに掃除をする
- ルール、きまりを守る
- 給食を残さず食べる
- 外で元気に遊ぶ
- 自分から挨拶をする
- 委員会を頑張る
- 低学年に積極的に話しかけ、仲良くする

あたり前のことのように感じられるかもしれませんが、子どもたちが自分事として「～したい」「～になりたい」と考えたことに大きな意味があります。「自分たちの力でよい学校にしたい」という意欲を大切にして、子どもたち全員にとっての「よい学校」が実現できるよう取り組んでいきたいです。この「よい学校」のとらえや努力したいことは、さらに増えていくとよいなと思います。とても楽しみです。

せんじつ いえ きんじょ ある 先日、家の近所を歩いていたときに驚いたことがありました。雨のため傘をさして歩道を歩いていたのですが、前から小学生くらいの子が並んで歩いてきたので、私は少し二人をよけて歩いていきました。すると、前から歩いてきた二人のうち一人の子が私に会釈（軽くお辞儀をすること）をしていったのです。私はその会釈を、私に対する「ありがとうございます」という感謝の気持ちだと受け止めました。中学生になるかならないかくらいの子供が、知らない相手に対して、歩道を歩けるよう譲ってくれたことへの感謝の気持ちをあらわしたことを、とてもうれしく、ありがたく思いました。

がっこう がっきゅうぜんたい なら いどう 学校では、学級全体が並んで移動しているときには、指導者が率先して挨拶したり子どもたちに挨拶を促したりすることで、子どもが進んで挨拶する姿を多く見ることができます。また、給食当番が移動する際に他の学級と同時に進んだときには、下学年を優先し、「お先にどうぞ」「ありがとう」という言葉が交わされています。子どもたちはそのような経験を重ね、状況に応じての行動の仕方を身に付けていきます。

それらのことは、学校の中だけでなく普段の生活でも使えるようになるとういことです。そのために、学校では挨拶やきまり、マナーなどについて、「何のために行うのか」（目的）が理解できるよう粘り強く取り組んでいきます。そして、子ども自身が、周りの状況や人の様子を見て考え、よりよい行動を選んで行える力を身に付けられることを目指していきます。